

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤坂 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、全学年を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

昨年度の本校の実態と比べると、これまでの体力向上の取組の成果が少しずつ表れてきている。質問紙では、ほとんどの児童が、運動やスポーツを「好き」「やや好き」と答え、運動への関心が高く、日常的に運動に親しんでいる児童が多いことも分かった。課題としては、テレビやゲームを長時間視聴する児童の割合が高いことと、朝食を毎日食べるという割合が少し低いことがあげられ、よりよい生活・運動習慣の確立に向けて、保護者への啓発活動を行っていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

全国体力・運動能力調査の結果から、体力が低い傾向にあったものを高める運動を、体育科の準備運動の中に位置付ける。また、児童の運動への関心・意欲を高め、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てていくために、体育科の学習指導法の研究を推進する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体力向上をねらったスポーツタイムの取り組みでは、なわとび集会や竹馬・一輪車乗り、ジョギングなどを計画し実行した。運動が苦手な児童を外に出るようにさせることが今の課題であるから、今まで経験のなかった一輪車などの運動に興味を示した児童がわずかもいてくれたことが成果である。今後、教師の声かけによる外遊びの奨励や、体育的な環境整備など、児童が進んで運動に親しめるようにしていくと共に、家庭にも学校通信等で呼びかけていくようにする。